

令和3年度 第3回多治見市福祉教育読本編集委員会

日 時：令和3年10月27日（水）

15:30～16:50

場 所：多治見市総合福祉センター3階研修室

出席委員： 加藤政也委員、河合尚子委員、久野智治委員、小島章予委員
小林実委員、杉原裕子委員、前川栄一委員、山田恵美子委員
吉田寛子委員

（50音順）

事務局： 福祉課長 春田正孝
福祉課 前田ひさ佳

1 あいさつ

2 議題

- 1 福祉教育読本（小学生用）修正後の内容確認
- 2 福祉教育読本（中学生用）の編集
- 3 その他 次回の予定について

○委員長 第3回多治見市福祉教育読本編集委員会を始める。

それでは、議題1 福祉教育読本（小学生用）修正後の内容確認を議題とする。はじめに、事務局から7ページまでの説明を願う。

（事務局 福祉教育読本（小学生用）修正後の内容を7ページまで説明）

○委員長 今までの説明で質問あるか。

（特になし）

○委員長 次に8ページから17ページまでを事務局から説明願う。

（事務局 福祉教育読本（小学生用）修正後の内容を17ページまで説明）

○委員長 ただいまの説明で意見や質問はあるか。

○委員 お年寄りを高齢者にしたとのことだがお年寄りにほうが優しい感じがする。

○委員 「高齢者」は「お年寄りのこと」と注釈を入れてはどうか。

○事務局 高齢福祉課に確認したところ、一般的にお年寄りとは言わないので高齢者に統一し注釈は検討する。

○委員長 つぎに18ページから32ページまでを事務局から説明願う。

（事務局 福祉教育読本（小学生用）修正後の内容を32ページまで説明）

○委員長 ただいまの説明で意見や質問はあるか。

○委員 21ページ 詩が小学生では難しいように思う。特に「就学免除」の意味は理解できないのではないか。注釈が必要になる。

- 委員 養護学校とあるが現在は使わない。
- 委員長 小学生には難しい詩ではないかとの意見をいただいているが、事務局としてはどうするか。
- 事務局 この詩の他にも提出していただいている詩があるので検討する。
- 委員 23、24 ページもお年寄りが使用されているので統一してほしい。
- 事務局 福祉教育読本（小学生用）全体を見直し高齢者に訂正する。
- 委員 25 ページの太字の文章がわかりにくい。
- 事務局 文章構成を検討する。
- 委員 25 ページ 小泉児童センターと精華児童館は各々交流センター内にあるので追記したほうが良い。
- 事務局 追記する。
- 委員 26 ページ 携帯電話から電話をする人が多いので、電話番号に市外局番を追記したほうが良い。
- 事務局 追記する。
- 委員長 28 から 30 ページ 第 2 回の書面開催でオストメイトマーク、白杖 S O S マーク、妊婦（マタニティ）マークを追加してはどうかとの意見をいただいた。ご意見をうかがいたい。
- 委員 中学生の読本に合わせて追加した方がいい。
- 事務局 マタニティマークは福祉マークではないので、それ以外の 2 つのマークは追加する。
- 委員 福祉マークのページを最初の「みつけよう」の項目に入れたらどうか。最初の項目にあることで、児童が福祉マークに興味を持ち生活の中で見つけて理解しやすいのではないか。
- 事務局 検討する。
- 委員 30 ページ 「公文書における「障がい者」等のひらがな表記について」の文章を最終ページに載せてはどうか。
- 事務局 最終ページに載せる。
- 委員長 その他、全体としての質問はあるか。
(特になし)
- 委員長 議題 2 福祉教育読本(中学生用)の編集についてを議題とする。それでは、事務局から説明願う。
(事務局 福祉教育読本(中学生用)の編集箇所を説明)
- 委員長 質問や意見はないか。
- 委員 4 ページ (2) 視覚障がいの程度の中の最後の文「違ってみえてしまいます」は「違ってみえます。」の方が良い。
- 事務局 訂正する。
- 委員 3 ページ 難病は障がいに入るのか。
- 事務局 大きな範囲で言えば障がいに入る。

- 委員 小学生の福祉読本に難病を入れなくてもいいのか。
- 委員 保育園幼稚園内にも、難病による障がい児と一緒に園生活をしているので、難病の子がいることを小学生の頃から知っておくことは大切なことだと思う。
- 委員長 事務局が、難病についての具体的な原稿を追加すると言っていたがどうか。
- 事務局 原稿は、中学生の福祉教育読本に掲載するもの。小学生の福祉教育読本に掲載することは検討したい。
- 委員 小学生の難病による障がい児の多くの子は、地域の学校ではなく特別支援学校に通っている。小学生が難病による障がい児に関わる機会は少ないので掲載は必要だと思う。写真が難しいのであればイラストでもいいと思う。難病による障がい児がいる現状を知ることが大切だと思う。
- 委員 発達障がいについても、細かな説明はせず簡単なトピックでいいので入れた方がいいのではないかな。
- 委員長 そのことについて教育相談担当に確認したところ、インクルーシブ教育の中で発達障がいについて理解するのは大切なことだが、小学生のうちはなかなか理解が難しい。それがもとでいじめに繋がったりすることがあるので十分に理解できる中学生がいいのではないかとのこと。ただ、福祉はみんなの幸せなので目を向けるためにも検討してもいいのではないかな。
- 委員 障がい者団体の意見交換会でも、いじめにつながる等マイナスになるのなら掲載しない方がいいとの意見が強かった。しかし、掲載を希望する声があったので今回は検討事項になったと聞いている。声があったからには簡単な説明でもいいので載せていいと思う。一番は指導する先生が、発達障がいの辛さや生きづらさをちゃんと理解したうえで決して傷つけないような伝え方をして欲しい。
- 委員長 この件については再検討する必要がある。その他何か意見はないか。
- 委員 11 ページ カセットテープは必要か。
- 委員 今はUSBも使われている。
- 委員長 カセットテープは現在も利用しているのか。
- 委員 カセットテープ利用者は現在もいる。
- 委員 中学生になるとカセットテープを知らないのではないかな。
- 事務局 現にカセットテープ利用者がいるのでこのまま掲載しUSBを追記する。
- 委員長 そのほか何か質問等ないか。
- 委員 小学生用の福祉教育読本は障がいの「がい」は全部ひらがなということではないか。中学生用の福祉教育読本はどうか。
- 事務局 混乱しないように、「公文書における「障がい者」等のひらがな表記について」としての注釈を各福祉教育読本に掲載する。
- 委員 3 ページ 最後の文章に「「障がい」の意味について」を「「障がい」について」でいいのではないかな。
- 事務局 訂正する。
- 委員 7 ページ 中学生になると、拡大文字教科書があるので拡大読書器を載せる必

要があるのか。また、拡大文字教科書のことにも触れると良い。

○事務局 拡大読書器はこのまま掲載し、拡大教科書を文章に追記する。

○委員 5 ページ 国際シンボルマークがこのページに必要か。多様な障がいを学習する導入のページに掲載するのが適当なのか。

○事務局 国際シンボルマークをこのページに掲載するか検討する。

○委員長 誰もが読みやすい字体が良い。

○事務局 製本時に字体を調整する。

○委員長 そのほか質問はないか。

(特になし)

○委員長 議題3 その他 次回の予定についてを議題とする。事務局より説明願う。

(事務局 次回の予定の説明)

○委員長 これにて第3回福祉教育読本編集委員会を終了する。